2026 年 10 月 26 日
一般社団法人日本船主協会

第 53 回川崎みなと祭りに海事 PR ブースを出展
～VR やクイズを通して海事産業を学ぶ～

当協会では、日本の暮らしと産業を支える海運をはじめとする海事産業の重要性や魅力を広く一般の皆様に知っていただけるよう、船舶や海事施設の見学会や海事 PR ブースの出展等の広報活動を全国各地で実施しています。

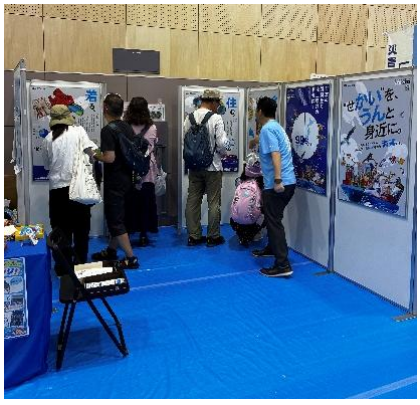
第 53 回川崎みなと祭りが 10 月 10・11 日（土・日）に神奈川県川崎市で開催され、当協会は日本内航海運組合総連合会や日本水先人会連合会等と協力し、海運をはじめとする海事産業の魅力を紹介する海事 PR ブースを出展しましたので、その模様をお知らせします。

今年は川崎港開港 75 周年にあたり、その記念イベントとして帆船「日本丸」が寄港し、海上保安庁の巡視船や海上自衛隊の護衛艦とともに船内が一般公開されました。また、会場となった川崎マリエン体育館内では各種団体も PR ブース等を出展し、多くの来場者で賑わいました。


帆船「日本丸」

今回で出展 4 回目となる当協会は、新 PR プロジェクト「“せ**かい**”を、**うん**と身近に。」のパネルを展示し、その内容にちなんだクイズを実施するとともに、VR 体験（自動車船／RORO 船の 2 種）コーナーを設けました。それぞれの参加者には、ノベルティをプレゼントしたほか、当協会の SNS アカウントをフォローしていただいた方には、オリジナル海運ミニ袋を配布しました。


自動車船内を VR で見学



パネル展示

2 日間にわたって行われた本イベントには大勢の方がブースにお立ち寄りいただき、VR 体験参加者は約 500 名に達しました。VR 終了後には、「船の中を見たのは初めてで面白かった」「自動車船内を見ることができて楽しかった」「（お子様が）10cm！10cm！」（と映像内の積載車両間隔（横幅）の回答を大人たちに伝える）等の声が聞かれました。

当協会は、今後も各海事関連団体と連携しながら、海事 PR ブースの出展をはじめとする各種広報活動を通じて、より多くの皆様に海事産業の重要性や魅力を発信・周知できるよう努めてまいります。

以上